

平成10年度果樹関係秋冬期処理 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成10年度果樹関係秋冬期処理除草剤・生育調節剤試験成績の検討と判定は、当協会委嘱の果樹関係専門調査員(果樹全体;後藤明彦氏、鈴木邦彦氏、リンゴ全体;増田哲男氏、リンゴ北海道;京谷英壽氏、落葉果樹除草剤;櫻村芳記氏、落葉果樹生育調節剤;森永邦久氏、常緑果樹除草剤;木原武士氏、常緑果樹生育調節剤;高原利雄氏)によって行われた。

本年度秋冬期の委託試験は、リンゴ関係除草剤4薬剤(16点)、落葉果樹関係除草剤5薬剤(14点)・生育調節剤2薬剤(12点)、常緑果樹除草剤4薬剤(12点)・生育調節剤19薬剤(56点)であった。また、この他に自主試験7点の報告があった。

その判定結果及び使用基準については、次の判定表に示すとおりである。

平成10年度 果樹関係秋冬期処理除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
1. HSD-972 フロアール剤 アザフェニシオン 120g/l クハホシネート 140g/l [アケレボシヤバソ、 デボソ、三共]	カン キツ	適用性 継 続	静岡柑試 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;30、40、50、65ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:ハスダ液剤 50ml<10ℓ>	実	(前回判定どおり) 実) [カンキツ:雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・40～65ml/a<10ℓ/a>. ・茎葉処理.
2. MON-93A 液剤 (ブロンコ) グリホサートアンモニウム塩 33% [日本モンサント]	カン キツ	適用性 継 続	静岡柑試、 兵庫淡路農枝、 宮崎総農試 (3)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ;25ml<2.5、5ℓ>、 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ> (共に少水量散布ノズル)	実・ 継	実) [カンキツ :雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;25～50ml/a 多年生雑草対象 ;50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a(専用ノズル使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・秋冬期処理について.
3. MON-96A 液剤 (ラウンドアップ ハイロード) グリホサートアンモニウム塩 41% (つづく)	リンゴ	適用性 継 続	岩手大学、 福島植防 (2)	[スギナ;翌春調査含む] 春期 生育期(草丈20-25cm程度) ;150ml<2.5、5ℓ>、200ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布ノズル)	実・ 継	実) [リンゴ:雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;25～50ml/a 多年生雑草対象 ;50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a (専用ノズル使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. スギナ対象 ;150～200ml/a <2.5～5.0ℓ/a (専用ノズル使用). ・茎葉処理. 継) ・スギナに対する効果の確認.

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
3. MON-96A 液剤 (つづき)	ブドウ	適用性 継 続	弘前大学、 埼玉園試、 長野中信農試 (3)	[スギナ;翌春調査を含む] 春期 生育期(草丈20~25cm程度) ;150ml<2.5,5ℓ>、200ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトアップ液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布ノズル)	実・ 継	実) [ブドウ、ナシ、オウト ウ、モモ、ウメ、カキ、クリ :雑草全般] ・春~夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;25~50ml/a 多年生雑草対象 ;50~100ml/a <2.5~5.0ℓ/a (専用ノズル使用)、 5.0~10.0ℓ/a>. スギナ対象 ;150~200ml/a <2.5~5.0ℓ/a (専用ノズル使用). ・茎葉処理. (継) ・スギナに対する効果の確認.
	ナシ	適用性 継 続	埼玉園試、 岐阜農総研、 佐賀果試 (3)	[スギナ;翌春調査含む] 春期 生育期(草丈20~25cm程度) ;150ml<2.5,5ℓ>、200ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトアップ液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布ノズル)		
	カン キツ	適用性 継 続	果樹試験場(興津) (1)	[スギナ;翌春調査含む] 春期 生育期(草丈20~25cm程度) ;150ml<2.5,5ℓ>、200ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトアップ液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布ノズル)	実・ 継	実) [カンキツ:雑草全般] ・春~夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;25~50ml/a 多年生雑草対象 ;50~100ml/a <2.5~5.0ℓ/a (専用ノズル使用)、 5.0~10.0ℓ/a>. スギナ対象 ;150~200ml/a <2.5~5.0ℓ/a (専用ノズル使用). ・茎葉処理. (継) ・スギナに対する効果の確認. ・秋冬期処理について.
		適用性 継 続	静岡柑試、 兵庫淡路農技、 宮崎総農試 (3)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ;25ml<2.5,5ℓ>、 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトアップ液剤 25ml <2.5ℓ> (共に少水量散布ノズル)		
[日本モンサント]						
4. NH-501 フロアブル剤 (サンダーボルト) グリホサートトリメチル塩 28.5 % ピラフルフェンシール 0.19%	リンゴ	適用性 継 続	宮城園試、 長野果試、 長野南信農試、 石川農総試 (4)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ;40,50,60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:タッチタックン液剤 40ml<10ℓ>	実・ 継	実) [リンゴ:雑草全般] ・春~夏期、秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・40~60ml/a <10ℓ/a>. ・茎葉処理. (継) ・春~夏期の少水量散布の効果 確認.
	ナシ	適用性 新 規	福井農試、 鳥取園試、 高知農技果試、 熊本農研球磨 (4)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ;40,50,60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:タッチタックン液剤 40ml<10ℓ>	実・ 継	実) [ブドウ、ナシ、モモ、ウ メ、カキ、クリ:雑草全般] ・春~夏期 (ブドウ、ナシ、モモ、ウメ、カキ、クリ)、 秋冬期(ナシ)、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・40~60ml<10ℓ/a>. ・茎葉処理. (継) ・ナシ以外の秋冬期処理につい て.
(つづく)						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
4. NH-501 フロアール剤 (つづき) [日本農薬、ゼネカ]	カン キツ	適用性 継 続	果樹試験キツ (興津)、 鹿児島大学、 香川農試府中、 大分農試津久見	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ;40、50、60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>	実・ 継	実) [カンキツ:雑草全般] ・春～夏期、秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・春～夏期の少水量散布の効果 確認.
5. SC-224 液剤 (タッチダウン) グリホサートトリメナム塩 38% [ゼネカ]	リンゴ	適用性 継 続	青森りんご試 県南、 宮城園試、 秋田果試、 長野果試、 長野南信農試	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ;50ml<5、10ℓ> ;茎葉処理 対:タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>	実・ 継	実) [リンゴ:雑草全般] ・春～夏期、秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・春～夏期; 20～60ml/a<2.5～5(専用ノズル 使用)、10ℓ/a>.(但し、20mlは一 年生雑草主体の場合)、40～60m l/a<1.0(専用ノズル使用)ℓ/a>. 秋冬期; 20～40ml/a<10ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・春～夏期0.4ℓ/a散布及び秋 冬期5ℓ/a散布の効果確認.
6. WOC-01 液剤 (三共の草枯らし) グリホサートイソプロピルアミ ン塩 41% [三共]	リンゴ	適用性 継 続	岩手農研、 秋田果試鹿角、 福島植防、 栃木農試、 長野果試	[雑草全般] 秋冬期(落葉後11月中下旬) 雑草生育期 ;25ml<2.5、5ℓ> 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ液剤 25ml <2.5ℓ> (共に少水量散布ノズル)	実・ 継	実) [リンゴ:雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;25～50ml/a 多年生雑草対象 ;50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a (専用ノズル使用、 5.0～10.0ℓ/a>). ・茎葉処理. 継) ・秋冬期処理の効果確認.
7. YF-65① 液剤 (ブリガロックSL) (マイゼット) ジクワットジプロミット 7% パラコートジクロリット 5% [ゼネカ]	ブドウ	適用性 継 続	広島県立大学、 長野中信農試、	[多年生雑草及びスギナ ;翌春調査含む] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;100、150、200ml <10ℓ(展着剤加用)> ;茎葉処理 対:ハスタ液剤 100ml<10ℓ>	実・ 継	(実の部分は、前回(昭和63 年まで)判定どおり) 実) [ブドウ、ナシ、キウイフルーツ、クリ: 一年生雑草全般;刈取り代用] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ブドウ、ナシ、キウイフルーツ 60～100ml/a <10ℓ/a>、 クリ 80～100ml/a <10～15ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・多年生雑草及びスギナに対す る効果の確認. ・薬害試験の継続.
	モモ	適用性 継 続	広島県立大学、 福島植防(夏)	[多年生雑草及びスギナ] ;翌春調査含む] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;100、150、200ml <10ℓ(展着剤加用)> ;茎葉処理 対:ハスタ液剤 100ml<10ℓ>		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-8083 MCPB 20%	イヨカン	適用性 継 続	山口大島かん試、 愛媛果試 (2)	[へた落ち防止] 収穫20～10日前 ;3,000,2,000倍液 ;立木全面又は枝別散布 <30～40ℓ> 対:マテック乳剤 2,000倍液 (常温貯蔵)	実 継	実) [イヨカン;へた落ち防止] ・ 収穫前20～10日 1回散布. ・ 3,000～2,000倍 <30～40ℓ/a>. ・ 立木全面散布. 継) ・ 効果の確認. ・ 果皮色について.
		適用性 継 続 (9年 度)	果樹試験場 (口之津) (1)			
	アマツ	適用性 継 続	静岡柑試伊豆、 香川農試府中、 福岡農総試園研 (3)	[へた落ち防止] 収穫20日前 ;3,000倍液 ;立木全面又は枝別散布 <30～40ℓ> 対:マテック乳剤 3,000倍液 (常温貯蔵)	実 継	実) [アマツ;ネーブルオレンジ、ハッサク;へた落ち防止] ・ 収穫前20日、1回散布. ・ 3,000倍<30～40ℓ/a>. ・ 立木全面散布. 継) ・ 効果の確認.
	ネーブル オレンジ	適用性 継 続	広島果樹柑橘、 山口萩かん試、 香川農試府中、 愛媛果試岩城、 徳島果試県北 (5)			
	ハッサク	適用性 継 続	和歌山果園試、 広島果樹柑橘、 愛媛果試、 愛媛果試岩城、 徳島果試県北、 福岡農総試園研 (6)			
[アタカシヨウ]	清 見	適用性 継 続	果樹試験場 (口之津)、 <山口大島かん試> 香川農試府中、 愛媛果試南予、 佐賀果試 (5)	[冬期落果防止] 11月下旬及び12月下旬 の2回散布 ;3,000倍液 ;立木全面又は枝別散布 <30～40ℓ> 対:マテック乳剤 3,000倍液	継	継) ・ 効果、葉害の確認.
2. CS-2H 水溶剤 (セルバイン) 硫酸カルシウム二水和物 57% 塩化カルシウム 27% その他 16%	ウシユ ミカン	適用性 継 続	神奈川根府川、 静岡柑試、 愛知農総試蒲郡、 和歌山果園試 (4)	[予措促進(浮皮防止)] ①夏秋期 8/下→9/下→10/中 ②秋期 9/下→10/中→11/中 ;300倍液 ;立木全面又は枝別散布 <果実から滴り落ちる程度> 対:フルン水和剤 100倍液 着色開始期から2回散布	継	継) ・ 効果の確認.
	ボンカン 不知火	作用性 新 規 (7年 度)	熊本農研果樹 (1)	[果皮障害の予措;コソ症、 水腐れ、焼け等] (参考設計):詳細は、一任 実生育旺盛時 ;300倍液 3～5回散布 <果実から滴り落ちる程度> ;枝別処理 対:無処理	—	
[白石カルシウム]		作用性 継 続 (8年 度)	熊本農研果樹 (1)			

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml < 水量 ml > / a ; 処理方法等	判 定	内 容
3. CX-10 液剤 シナミト [®] 10%	ブドウ (特に 露地)	適用性 継 続	青森りんご試 県南、 山形園試、 長野果試、 山梨果試、 大阪農技、 岡山農試、 福岡農総試園研 (7) 自主; 長野果試、 山梨果試	[萌芽促進、発芽率の向上 ; 露地] 処理時期一任 ; 濃度 10~20 倍希釈 < 15-20 ℓ > (散布の場合) ; 全面散布又は塗布	実・ 継	実) [ブドウ (施設); 新梢の 萌芽促進及び発芽率の向上] ・ 1 1 月 ~ 1 月. ・ 2 0 ~ 1 0 倍液の結果母枝へ 塗布又は散布 < 15 ~ 20 ℓ / a > 及び 1 0 倍液の立木全面散布. 継) ・ その他の栽培法 (特に露地栽 培と処理時期) について.
[日本カーボト工業]	ワトリ	自 主	山形園試			
4. DNK-01 水溶剤 シナミト [®] 14%	ブドウ (施設)	適用性 新 規	長野果試、 山梨果試、 大阪農技、 島根農試、 岡山農試 (5) 自主; 山梨果試	[萌芽促進] 1 1 月 ~ 1 月 ; 0.7, 1.0, 1.4 ℓ < 20 ℓ > ; 全面散布及び塗布 対: 無処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認.
5. HOK-813 乳剤 フェノチオール 20%	アマンツ ネーブル オレンジ イヨカン	適用性 継 続	静岡柑試伊豆、 三重農技紀南、 山口萩かん試、 熊本農研果樹 (4)	[へた落ち防止] 収穫 1 0 日前 ; 5 0、1 0 0 p p m ; 立木全面散布 < 果実から滴り落ちる程度 > 対: HOK-813 乳剤 1 0 0 p p m 収穫 3 0 日前 対: マック乳剤 1 0 0 p p m 収穫 1 0 日前 対: 無処理	実・ 継	実) [アマンツ、ネーブルオレ ンジ、イヨカン; へた落ち防止] ・ 収穫前 30 ~ 10 日、1 回散布. ・ 4, 000 ~ 2, 000 倍 (50 ~ 100 ppm). ・ 立木全面散布. 継) ・ 処理時期について. ・ 果皮色について.
[北興化学工業]			香川農試府中、 徳島果試 (2)			
6. MB-975 液剤 グルコン酸カルシウム 64% 乳酸カルシウム 16%	普通 ウンシュウ ミカン	適用性 継 続	神奈川根府川、 静岡柑試、 福岡農総試園研 (3)	[減酸(品質向上)] ① 9/5 → 9/20 (月日は目安) ② 9/20 → 10/5 ③ 10/5 → 10/20 ④ 10/20 → 11/5 ; 2 0 0 倍液 2 回散布 ; 枝別散布 < 果実から滴り落ちる程度 > 対: 無処理	継	継) [早生ウンシュウミカン] [普通ウンシュウミカン] ・ 効果の確認.
[丸和ハイオケカル]						
7. PDJ + GA ₃ (現地混用) 液剤 n-propyl Dihydrojasmonate (DPJ) 5% Gibberellic Acid (GA ₃) 4%	ヒュウガ [®] ナツ	作用性 継 続	静岡柑試伊豆、 愛媛果試南予 (2)	[着果向上、肥大促進] 有葉果の開花盛期 ; ① PDJ 50 ppm + GA 50 ppm ② PDJ 50 ppm + GA 100 ③ PDJ 100 + GA 100 ; 花(果)房散布 < 滴り始める程度 > 対: GA 300 ppm	—	— (・ 効果の確認.)
[日本ゼオノ、トーマン]		作用性 新 規 (9 年 度)	愛媛果試南予 (1)			

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <=>中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
8. R I C - 1 液剤 (ケルパック 66) 海藻ホモネート	カン キツ (不知 火)	適用性 継 続	静岡柑試、 熊本農研果树	[苗木;根及び地上部の発育生長 等に及ぼす影響;3年目] ;3~4月 ;原液1、2、3、5ml/樹<1-3ℓ/樹> ;灌水処理 対:無処理<水1-3ℓ/樹>	実 ・ 継	(前回判定どおり) 実) [カンキツ;根の発育促進] ・3~4月 ・原液1~3ml/樹 <1.0~3.0ℓ/樹>. ・灌水処理. 継) ・効果の確認.
	不知火	作用性 継 続	果树試験キツ (口之津) (1)	[生育促進] ;別途協議	—	—
	ウシユ ミカン	作用性 継 続	静岡柑試 (1)	[樹勢・品質向上・収量 (連年処理)] ;申請書参照	—	—
	不知火	作用性 継 続	果树試験キツ (口之津) (1)		継	継) ・試験を継続して効果を確認する.
		適用性 継 続	広島果树柑橘、 愛媛果試岩城、 熊本農研天草 (3)			
[ロイヤルインクストリス°]	宮内 伊予柑 吉田 ネパール	作用性 継 続	果树試験キツ (口之津)	[品質向上・収量(連年処理)] ;申請書参照	実 ・ 継	(前回判定どおり) 実) [イヨカン;樹勢強化による 着果安定及び果実肥大促進] ・3月;土壤灌水 +4月~9月;立木全 面散布. ・灌水;0.1ℓ/a <1,000~500倍液> 散布;5,000~3,000倍 液<25~50ℓ/a>、1 ヶ月毎に4~6回. 継) ・効果の確認.
			(1)			
9. ジベレリン 水溶剤 (ジベレリン協和粉末) (ジベレリン明治) (ジベレリンTM顆粒) ジベレリン 3.1%	ボンカン	適用性 継 続	静岡柑試、 愛媛果試、 鹿児島果試 (3) 自主;静岡柑試	[水腐れ防止] ①着色始め~1分着色期 0.5ppm ② 同 1.0 ③3~4分着色期 0.5ppm ④ 同 1.0 ;枝別散布 <余分な薬液は振るい落とす> 対:無処理	実 ・ 継	実) [ボンカン;水腐れ防止] ・着色始期~3、4分着色期. ・0.5ppm. ・立木全面散布. 注) ・着色が遅れることがある. 継) ・濃度について. ・散布時期について.
	不知火	自 主	熊本農研果树	[過着花防止]		